

2014 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名[多摩市立東愛宕中学校] 担当教諭名[大塚 雄史] (美術部 6名)

交流相手国[リトアニア]

海外学校名[Silavotas Basic School In Prienai District] 担当教諭名[Laimute Cepulinskiene]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教 科	単 元 名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	部活動		30

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	オリンピックと世界遺産
絵に込めたメッセージ	各国の世界遺産や昔話を盛り込み、2020年に行われる東京オリンピックに関連して、スポーツによる世界平和の願いを込めた。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
4年目に入り、先輩たちの取り組みを見ていた下級生が、自己紹介や調べ学習に積極的に取り組む様子が見られた。また、完成した作品を見て、表現の違いに着目して、文化の違いを感じ取ることができた。	部活動での参加であったが、もっと多くの生徒や教員が関わり、この取り組みを広げていく必要がある。そのためには、この取り組みに対する他の教員の理解を深め、総合的な学習の時間に取り込むことが必要である。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手国や世界に対しての意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
どこにあるのかも知らない国について、最初は興味関心をもって取り組んでいたが、次第に同じ中学生としての考え方の違いや共通点、文化の違いと共通点に気がつき始め、壁画の制作においても積極的に取り組むようになった。	美術科の教員として、表現の違いや絵の具の使い方の違いから、新たな発見があり、改めてこの交流の意義を考える機会となった。テーマについても新たなテーマに取り組んでいきたいと考えている。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
自己紹介	6月 7月	各自が写真を撮り、イラストを入れた名前のカードを描き、英語で自己紹介文を作り、フォーラムにアップした。	各自が自分らしさを考えて、イラストを加えながら名前のカードを描くことで、これからの交流についての期待を高めていく様子が見られた。	部活動4
テーマ学習	9月	リトアニアについての調べ学習から始まり、テーマの決定と相手国との意見交換を行った。テーマが決まってからは、オリンピックについて調べ、各国の人気のあるスポーツについて紹介し合った。	リトアニアという未知の国に対して、興味関心をもって調べ学習を行っていた。質問をし合ったことで、中学生としての親近感が湧いてくる様子が見られた。	部活動10
構図決定	10月	構図のアイデアについて、意見交換を行いながら、簡単なアイデアスケッチを描き、合意することができた。	いくつもの構図のアイデアを話し合いながら考えたことで、共同制作に対する意識が高まった。	部活動6
壁画制作	11月	描写の細部や色彩について話し合ったり、制作の分担を決めたりしながら制作を進めていった。	途中で何度も話し合いをもつ中で、お互いの良さを認め合うことの大切さを理解すると共に、意見の食い違いから共同制作の難しさについても痛感する様子が見られた。	部活動10
鑑賞・振り返り	3月	完成した作品を前に、お互いの表現の違いを中心にして、感想や質問を考えてフォーラムにアップする。(3月19日現在ではまだ実施できていない。)	色の使い方や表現の違いから、何か気候の違いのようなものを感じ取っていた。特に影の部分の色彩の使い方の違いに興味をもっていた。	部活動2

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	5	漠然ととらえていた自国の文化について、特に制作段階において日本の色彩について気がついた様子が見られた。
異文化の理解	A	4	興味関心をもって調べ学習を行い、制作においては表現の違いについて高い関心をもって鑑賞していた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	A	4	英語に関しては熱心に取り組んでいたが、1、2年生の英語のレベルではなかなか思いを表現できずジレンマを抱えていた。
情報活用能力 (情報収集・発信)	B	4	インターネットを使って、多くの情報を集めることができた。若干、情報収集の方法が偏ってしまった。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	A	5	初めて共同制作に取り組む中で、部員同士で協力したり、意見が食い違ったりすることを通して、段々と協力していくようになった。
協働する力 (役割分担・協力)	B	5	特に指導をした訳ではなかったが、自然発生的に役割分担ができており、お互いを尊重しながら制作する様子が見られた。
学習を追究する意欲	B	3	興味関心から追求していくまでの学習とならなかったことは残念であった。これからの課題です。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	A	5	何度も塗り重ねることができる絵の具であったことから、表現力は格段に成長したと思います。
作品を鑑賞する力	B	4	自分たちの表現との違いに気がつき、改めて次の表現への意欲を高めていた。